

平成 28 年度 事業実績書

会計 一般会計

事業期間 平成 28 年度～平成 28 年度

原課方針 計画 B 実績 B

A 拡大・発展 B 改善・変更 C 縮小・整理 D 廃止・完了

評価

縮小 継続

総合計画 戦略ビジョン (政策分類) 7. 市民が共に学び合い、支え合う文化を育てます (9. 学校教育)

事業コード 145700-00 事業名 学校給食センター運営委員会経費 経費区分 経常的経費 単独事業
 予算科目 10 款 教育費 07 項 保健体育費 03 目 給食センター費

単位：千円

節 名	当初予算額	補助対象	単独費	事業の根拠等	法令(条例・総合計画・町長施策・町民要望・職員提案・その他)	備考
1 報酬	90		90			
2 給料						
3 職員手当等						
4 共済費						
5 災害補償費						
7 賞金						
8 報償費						
9 旅費	9		9			
10 交際費						
11 需用費						
(1) 消耗品費						
(2) 燃料費						
(3) 食糧費						
(4) 印刷製本費						
(5) 光熱水費						
(6) 修繕料						
(7) 賄材料費						
(8) 飼料費						
(9) 医薬材料費						
12 役務費						
(1) 通信運搬費						
(3) 広告料						
(4) 手数料						
(6) 保険料						
その他						
13 委託料						
14 使用料及び賃借料						
15 工事請負費						
16 原材料費						
17 公有財産購入費						
18 備品購入費						
19 負担金補助及び交付金						
20 扶助費						
21 貸付金						
22 補償補填及び賠償金						
23 償還金利子及び割引料						
24 投資及び出資金						
25 積立金						
26 寄附金						
27 公課費						
28 繰出金						
29 予備費						
合計	99		99			
				区分	当初予算額	決算額
				国庫支出金		
				道支出金		
				地方債		
				一般財源	99	59
				合計	99	59
				財源算出基礎(補助率、基本額等)		備考
				[地方債] 名称:		運営委員会の委員報酬と費用弁償を計上。給食センターの運営状況報告や次年度の給食費算定の協議を行っている。
				課等係名		学校給食センター係
				計画作成者		高田生二
				実績作成者		高田生二

55

外部評価委員会評価

評価	外部評価委員会意見
B	

A 拡大・発展 B 改善・変更 C 縮小・整理 D 廃止・完了

総合計画	戦略ビジョン (政策分類)	7. 町民が共に学び合い、支え合う文化を育てます (9. 学校教育)	事業コード 145800-00	事業名 細事業名	学校給食センター運営経費	経費区分 単独事業	評価 継続
------	------------------	---------------------------------------	--------------------	-------------	--------------	--------------	----------

予算科目	10 款	教育費	07 項	保健体育費	03 目	給食センター費
------	------	-----	------	-------	------	---------

節 名	当初予算額	補助対象	単独費	事業の 根拠等	事業の 根拠等
1 報 酬	0				
2 給 料	0				
3 職 員 手 当 等	0				
4 共 済 費	3,960		3,960		
5 災 害 補 償 費	0				
7 賃 金	14,540		14,540		
8 報 償 費	0				
9 旅 費	160		160		
10 交 際 費	0				
11 需 用 費	41,356	0	41,356	(事業の概要・算出基礎等) H28年度は、新人調理員が昨年に引き続き増加するために現在1名の嘱託調理員に加え後継者として1名を10月から嘱託職員とすることから賃金全体で715千円の増となっている。センター職員の研修の充実を図るため旅費を計上。需用費ではH27予算時の電気料値上げ見込に対し実績見込精査により大きく減少したものの、給食機器の劣化修繕や賄材料費において前年度単価に据え置いたが児童数の増加により若干増加したため需用費全体では前年度比1,329千円の減額。大きな工事請負費や自動車備品の更新完了に伴い運営経費全体では9,287千円の減額となった。	(事業実施時の問題点・検討課題) 地元食材を積極的に使用し、食育につながるよう努め、安全で安心な給食の提供をする工夫を検討する。昨年度に引き続き地元食材の調達工夫に勤める。また、栄養教諭が現在休職中であり、代替の教諭の確保が特に重要である。給食調理員において、嘱託調理員が昨年度3名が退職し、現在1名の嘱託調理員と日額者6名(現在1名欠員)の体制となっている。更に次年度は2名の新人が見込まれ、責任ある嘱託調理員及び新人の調理員育成が急務となっている。給食用設備の劣化修繕及び備品購入について衛生面と学級増に対応した備品整備を適切に進めること。 給食費の年度当初事務において、各学校からの児童生徒一覧表の提出と、口座引き落とし依頼書の確認及び事務と準要保護確認及び減免事務が継続するので事務の取り扱いにおいて工夫が必要。
(1) 消耗品費	2,650		2,650		
(2) 燃料費	1,846		1,846		
(3) 食糧費	0				
(4) 印刷製本費	0				
(5) 光熱水費	5,570		5,570		
(6) 修繕料	484		484		
(7) 賄材料費	30,794		30,794		
(8) 飼料費	0				
(9) 医薬材料費	12		12		
12 役 務 費	1,135	0	1,135		(事業実績・成果・評価) ・ 常勤調理員(7名)が1名減の体制となったが、代替調理員の活用で給食の調理には影響がなく運営できた。 ・ 当初(4月～6月)において、栄養教諭(道職員)不在の中で、調理員を中心に臨時事務員雇用など、センター職員全員での給食運営に努めた。 ・ 台風の影響等による食材の高騰などに、一部町費負担などによる対応で、質を落とさず、安心でおいしい給食の提供が出来た。 ・ 給食設備・機器等の計画的な維持管理や機器の更新に努めたことで、安定した給食運営ができた。
(1) 通信運搬費	113		113		
(3) 広告料	0				
(4) 手数料	884		884		
(6) 保険料	138		138		
その他	0		0		
13 委 託 料	3,855		3,855		
14 使用料及び賃借料	99		99		
15 工 事 請 負 費	0		0		
16 原 材 料 費	0				
17 公有財産購入費	0				
18 備 品 購 入 費	1,074		1,074		
19 負担金補助及び交付金	32		32		
20 扶 助 費	0				
21 貸 付 金	0				
22 補償補填及び賠償金	0				
23 償還金利息及び割引料	0				
24 投資及び出資金	0				
25 積 立 金	0				
26 寄 附 金	0				
27 公 課 費	0				
28 繰 出 金	0				
29 予 備 費	0				
合 計	66,211	0	66,211		
				財源算出基礎(補助率、基本額等)	備 考
				国庫支出金	
				道支出金	
				その他	29,130
				地方債	800
				一般財源	37,081
				合計	66,211
				社会保険料納付金(健康・厚生年金・労災・雇用保険料)	1,567千円
				給食費収入	25,159千円
				計	26,726千円
				(基本 26,201千円 - 町制度減免 1,042千円)	
				[地方債] 名称: 過疎対策事業債	
				課等係名	学校給食センター係
				計画作成者	高田生二
				実績作成者	高田生二

外部評価委員会評価

評 価	外部評価委員会意見
B	食材確保や勤務体制関係等大変だと思うが、美味しい給食を提供していただいている。学校でもできるだけ残さないよう指導している。